

陸自音楽隊、通達違反か

特攻隊頭彰の宗教行事で演奏

旧日本軍による特攻作戦での戦死者を顕彰する護国神社（福岡市）での宗教行事で、陸上自衛隊第4師団（福岡県春日市）の第4音楽隊が演奏していたことが、23日までにわかりました。宗教行事での音楽隊の演奏は、防衛省の内部通達で「宗教的活動に関与したことになるので、厳に慎むべき」だとしており、この通達に違反する疑いがあります。



陸上自衛隊の音楽隊が派遣された護国神社＝福岡市中央区

祭壇前で「海ゆかば」など

弾粉と砕くとも撃ちてしや
まぬ 大和魂」という歌詞
です。「歩兵の本領」は「大
和男子と生まれては散兵線

の花と散れ」となっていま
す。
この行事を報じたNHK
ニュースによると、音楽隊
は「海ゆかば」など約10曲
を演奏しました。この曲は
「海ゆかば 水漬く屍」大
君の辺にこそ死なぬ」とい
う歌詞です。
同ニュースによると、航

本紙が情報公開請求で入手した音楽隊の実施計画。「空の神兵」などの演奏曲が記されています

本紙は防衛省への情報公開請求で「演奏支援実施計画」を入手しました。これによると、5月11日に音楽隊の隊員25人が「福岡県特攻隊頭彰会式典」に派遣されました。

「計画」では「懐かしの戦時歌謡」などを演奏するとしていますが、行事では歌っていませんが、演奏曲の歌詞は、兵士の自己犠牲を賛美するものが目立ちます。軍歌「空の神兵」は「肉

演奏支援実施計画	
行事名	福岡県特攻隊頭彰会式典
日時	令和6年5月11日（土）
場所	護国神社
内容	1 空の神兵 2 歩兵の本領 3 軍艦～扶桑歌 4 懐かしの戦時歌謡 5 糸 6 攻撃
移動	演奏服 演奏帽

空自衛隊西部航空方面隊の稲月秀正司令官が行事に出席し、玉串を差し出すなど、神事に参加しました。稲月司令官は「私的な活動」と説明しているといえます。

第4音楽隊は、行事の第2部から参加。神事が行われた会場の祭壇そばで演奏をしていました。

1974年の事務次官通達「宗教的活動について」では「宗教的色彩を帯びた行事（神官、僧侶、牧師等の主宰する祭典、儀式等）に添込んだ形で、自衛隊の音楽隊、ラッパ隊、儀仗隊等が参加することは、主催者が宗教団体、非宗教団体のいずれを問わず、宗教的活動に関与したことになるので、厳に慎むべき」だとしています。また「部隊等が宗教的色彩を帯びた行事に労力支援、物品貸与等の便宜を供することは（中略）宗教的活動に対して便宜を供したことになる」と禁止しています。第4音楽隊の演奏は、これに違反する疑いがあります。